

教科(科目)	工業（製図）	単位数	2	学年(コース)	3 学年（電子機械コース）
使用教科書	実教出版 「機械製図」				
副教材等	なし				

1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	卒業までに次の資質・能力を育成する。 ① 主体的に課題を見つける感覚を養い、自ら学び、解決策を創造する資質・能力と産業社会で求められる倫理観と規範意識を育成します。 ② 生涯にわたって学び続ける意欲を養い、新たな産業に柔軟に対応する自己指導力を育成します。 ③ 国際的視野に立って考える姿勢を養い、地域の発展と豊かな暮らしに貢献するために必要な思考力、発想力を育成します。
カリキュラム・ポリシー	資質・能力を育成するため、このような教育活動を行う。 ・共通教科の学びを強化して、基礎学力の定着を図ります。 ・工業高校で学ぶ基本的な知識や技能を修得し、課題研究や新しいIT技術について、主体的な学び方と実践する場を設定する。 ・将来、国内・国際社会で活躍するために必要なコミュニケーション能力や英語力の向上を図り、多様な価値観を持つ仲間との協働的学習を行います。

2 学習目標

製図に関する日本産業規格の基礎的な知識と技術を習得させ、製作図、設計図などを正しく読み、図面を構想する能力と態度を育てる。

3 指導の重点

機械製図の基本を学び、機械・器具の設計製図に至るまで段階を追って学習する。

機械製図に関する基礎知識を、総合的にまとめる能力を身につける。

4 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・各種機械や部品の製作に使用される図面などの作成に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得するとともに、各種機械や部品の製作に使用される図面等の役割や作図法、図面などを正しく読み、作成できる力を身につけている。	・各種機械や部品の製作に使用される図面などの作成における諸問題を的確に把握（分析）し、考察を深めるとともに、機械製図に関する知識と技術を活用しながら表現する力を身につけている。	・各種機械や部品の製作に使用される図面などを作成することに興味・関心をもち、機械製図の意義や役割の理解および諸問題の解決を目指して、主体的に学習に取り組もうとしている。

5 評価方法

評価方法	各観点における評価方法は次のとおりです。		
	知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	以上の観点を踏まえ、 小テスト 提出物 などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 小テスト 提出物 などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 授業への取り組み 小テスト 提出物 などから、評価します。
	内容のまとまりごとに、各観点「A:十分満足できる」、「B:おおむね満足できる」、「C:努力を要する」で評価します。内容のまとまりごとの評価規準は授業で説明します。		

6 学習計画

月	単元名	教材名	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
4 5 6 7	ねじ	ねじの基本 ねじ製図 ボルト・ナット	ねじの基本原理や種類等を理解し、ねじ部の図示法やボルト・ナットの略画法について学習する。	25	授業の取組 小テスト 提出物
9 10 11	軸と軸継手	フランジ軸継手 基本的な寸法記入法 いろいろな寸法記入法 寸法記入についての留意事項 公差・表面性状	各種軸継手の製図を通して、キー溝の表し方や寸法公差記号の利用について学習する・教科書に沿った内容の説明及びまとめ	25	授業の取組 小テスト 提出物
12 1	歯車	歯車の基礎 歯車製図 平歯車 はすば歯車とやまば歯車 かさ歯車 ウオームギヤ	- 歯車の種類や各部の名称、その他一般的な事項について理解したうえで、歯車の図示法や要目表の記入など歯車製図に関する基本的な事項について、実技(演習課題等)を通して学習する。 - はすば歯車ややまば歯車、かさ歯車、ウオームギヤなどの特殊な歯車について学習する。	20	授業の取組 小テスト 提出物

計 70 時間 (50 分授業)

7 課題・提出物等

- ・小テスト
- ・プリント
- ・製図

8 担当者からの一言

機械製図は、丁寧にわかりやすくことが大事です。さらに、期限通りに提出することも大事です。

機械製図を学び、関連する教科との学習内容を深めて下さい。